

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>令和6年度 2月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子</p>
---	--------------------------	---

☆ ホームページアドレス <https://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



凡事徹底



「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」昔から学校現場ではよく言われている言葉です。ついこの前、3学期が始まったばかりだと思っていたら、もう2月。2月は28日までだから、すぐに3月が来ます。卒業式が3月19日、修了式が3月25日。もう令和6年度が終わりです。新年度に向けての準備もしなければなりません。短いということをしっかりと自覚して、1日1日を大切に過ごしていきたいものです。また、先月に引き続き、全国的にインフルエンザ等の感染症が猛威をふるう中、本校では、今のところ、落ち着いた状況です。免疫力をあげて、予防できる対策はしっかりととっていきたいです。

さて、「凡事徹底」の意味は、「あたりまえのことをあたりまえにする」です。たとえば、「靴のかかとをそろえて靴箱に入れる。」や、「整理整頓をする」などです。でも、この言葉の意味は、それだけではありません。あたりまえのことを『人にはまねできないほど一生懸命やる』という意味もあります。

先日、日本やアメリカのプロ野球界で野球殿堂入りを果たしたイチロー選手もこの「凡事徹底」という言葉を大切にしているそうです。2004年に262安打の年間最多安打記録を果たした時の名言に「小さなことの積み重ねがとんでもないところへ行く道だった。」があります。人にはまねできないほど、目標をもって素振りをしたり体作りをしたりすることで、大リーグでも最多安打を記録し、故障しない体を獲得することができたのです。また、2025年に満票での野球殿堂入りができなかったことについて、「いろんなことが足りない、人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんですよ。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけで、そういうことを改めて考えさせられる、見つめあえる。そこに向き合えるのはよかったなと思います。」と語っていました。どちらの名言も「自分の信じる道を前に向かって進む」という強い意志を感じます。

春はもうそこまで来ています。6年生は、卒業に向けて様々な行事があります。2月は、地区のバスケットボール大会、お別れ遠足、6年生を送る会等が予定されています。その他の学年も、まとめの時期です。前に向かって、次の学年に進むことができるよう、みんなで力を合わせていきたいですね。